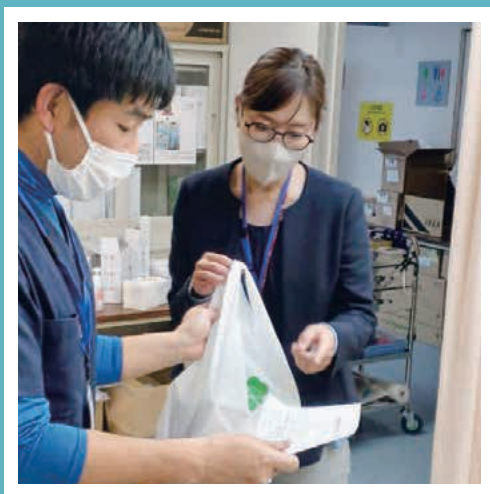




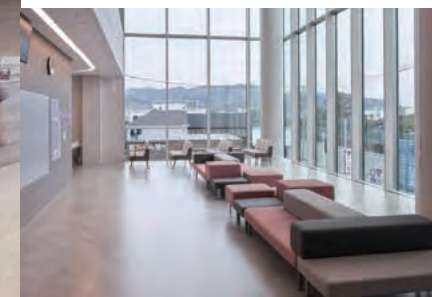


CONTENTS

- 03 清水さくら病院：移転開院
- 04 新任病院長紹介
- 05 役員メッセージ
- 06 **特集** 病院・施設紹介
 - 医療設備：清水さくら病院 健康管理センター
 - 医療設備：東京高輪病院
 - 施設紹介：千葉病院
 - イベント：諫早総合病院
 - 地域貢献：二本松病院
 - 地域交流・PR：東京新宿メディカルセンター
- 12 かえるチャレンジ！2025
- 13 ONE JCHO(理事長訪問)
- 14 JCHO認定キャリアアドバイザー(JCA)制度
- 15 病院機能評価：ワーキンググループの取り組み
- JCHO PHARMACIST



2025年3月1日、清水さくら病院（旧桜ヶ丘病院）がオープンしました。今まで地域で担ってきた内科二次救急と高度急性期病院からの後方連携を主体とした運営をさらに強化していきます。また、予防医療に力を入れ人間ドックの質の向上、MRIによるがん検診（全身・乳腺）など特色のある検診を推進していきます。地域住民の方に愛される病院になるよう職員一丸となって取り組んでいきます。



新任病院長紹介

地域に信頼される病院を目指し、組織一丸となって
着実に医療・介護の質の底上げを進めましょう：山本修一



小澤 浩司
(仙台病院)



堀江 久永
(うつのみや病院)



郷地 英二
(船橋中央病院)



橋本 政典
(東京山手メディカルセンター)



田村 晃
(東京蒲田医療センター)



石原 司
(山梨病院)



中辻 裕司
(高岡ふしき病院)



和田山 文一郎
(玉造病院)



大下 昇
(下関医療センター)

役員メッセージ

病院薬剤師育成担当理事
埼玉メディカルセンター薬剤部長

伊藤 典子



Where there is medicine, there are pharmacists

病院薬剤師が「もっと輝ける未来」に

私が薬剤師になった1990年代初め、病院薬剤師の主な役割は調剤や医薬品の在庫・品質管理など、「薬を安全かつ確実に届けること」でした。

あれから30年、薬の世界も急速に高度化・複雑化し、医療現場では「チーム医療」が当たり前となる中で、病院薬剤師の役割も大きく変化し、拡大してきました。

従来の調剤・製剤・医薬品管理業務に加えて、病棟や外来、手術室などの専門部門も含む院内のあらゆる場面で、チーム医療の一員として活動することが求められています。さらに、医薬品の適正使用に基づく医療安全の推進や、医療経済の視点も重要な役割となっています。

がん・感染症・緩和ケアといった専門領域では、患者さんに寄り添いながら、薬の専門家として薬物療法を支援し、治療に貢献しています。こうした役割は薬剤師の重要な使命として認識され、大きなやりがいにもつながっています。

しかし今、全国的に「病院薬剤師が足りない!」という深刻な現実があります。人手不足は業務の制限を招き、医療の質や安全性の低下にもつながりかねません。その結果、病院薬剤師という仕事の魅力ややりがいが十分に伝わらず、志す人が減るといった悪循環が生まれています。そんな状況を変えるべく、JCHOでは今、薬剤師の確保と育成に力を注ぎ、さらなる専門性の向上にも本気で取り組んでいます。「薬あるところ薬剤師あり」これからの医療を支える重要な力として、病院薬剤師が「もっと輝ける未来」に向かって歩み続けます。



病院
医療設備

清水さくら病院

mirai
清水さくら病院健康管理センター



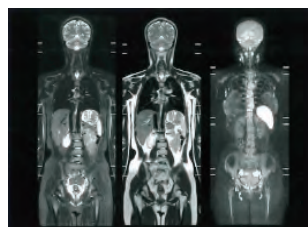
乳がん・全身がんのスクリーニング検査ができる
『ドゥイブス法』



副看護師長（保健師） 若杉 あおい



ドゥイブス法による全身がん健診・乳がん健診を推進
（新しく導入したMRI）



頭部から骨盤までのがん検査が
一度のMRI撮影で可能！



無痛MRI乳がん健診

特徴

被ばく
しない

痛くない

見られない

造影剤の
投与なし

検査後
処置なし

がん発見
率が高い

時間が
短い

日本人
向き

* 豊胸術や乳房の手術後も検査可能です



清水さくら病院健康管理センターは**mirai**という愛称でスタートしました。地域住民みなさまの疾病を早期に発見すること、未来に続く健康をサポートしていくことが私たちの重要な役割です。その想いを込めて**mirai**（みらい）と名付けました。

健康診断では年齢や性別、生活習慣に合わせて必要なオプション検査をカスタマイズし、おひとりおひとりに合わせたオーダーメイド健診をご提案しています。

miraiでは、高精度で安心な検査を提供できるよう、DWIBS法MRI検診を行っています。痛みや被ばくを伴わず、かつ感度の高いMRIを行うことで癌検診にも力を入れています。

～私たちは「この病院に来て良かった」と言ってもらえることを最大の喜びとしています～という当院標語のもと、健診チームで連携し未来に続く豊かな生活を過ごすための健康づくりに取り組んでいます。

病院
医療設備

東京高輪病院

MRI 検査を少しでも快適に！

放射線科 診療放射線技師長 布施屋 一広



MRシアターシステムの様子



リラックスして検査を受けられます

MRI検査について皆さんは『狭く暗い中で行う苦痛な検査』のイメージがあると思います。当院では少しでも検査時の苦痛を和らげるためにMRI機器更新時にMRシアターシステムを導入しました。

MRシアターシステムは、患者さんにプロジェクタから投影した映像を見せることで、ボア内に設置したスクリーンに映像を投影することで臨場感の高い映像が目前に広がり特に頭頸部の検査を受ける方には高い評価をいただいています。

千葉病院



リハビリテーションにも活用、新駐車場と遊歩道
心やすまる病院環境への取り組み

病院長 岡住 慎一



千葉病院は、4月に新駐車場をオープンしました。先行して昨年3月に開院した新病院前ロータリーから直結し、両者を結び大網街道に沿って周回する遊歩道を併設しております。植栽のベルトを併走させて、桜、ハナミズキ、ヤマボウシ、ツツジ、ツゲ、シャリンバイなどの花木と、シマトネリコ、モミジ、カナメモチなどの樹木を配置しました。

来院される皆様や入院患者の方々の散歩道として、四季折々の花々や、新緑、紅葉を楽しんでいただき心休まる病院環境の実現を図っております。

当院にお越しの際は、是非歩いてみてください。20種の植栽がお迎えします。



諫早総合病院

2025 年度 目標 一文字

看護部長 吉田 佳織

和

を持って、次のステップへ

飛

躍します

新

しいことに

挑

んで、



思

相手を

尊

い、

礼

を持って接し、信

頼

される看護部へ

楽

しく

笑

い合える、そして

安

心

して働ける

穏

やかな職場環境を

整

えます

諫早総合病院看護部では、新人看護師に看護管理者を知ってもらうこと、また看護部の動きや考えなどを伝え、環境に少しでも早く馴染んでもらうことで、やる気と離職防止につなげたいと考えています。

今年度の新人オリエンテーションでは、看護師長が今年度の自身の目標を一文字として挨拶の代わりに発表しました。また、その様子をポスターにし各部署へ配布しています。

二本松病院

えぬ ぶ かつ
「N・BU 活」

総務企画課 給与係長・厚生係長 岸部 佳弘



2023年8月に始まった二本松病院 N・BU活は、現場最前線で働く若手・中堅職員がメンバーとなり管理者方に意見を取り上げてもらうために活動を行っております。

お金をかけない工夫による収益増加を目指すほか、患者満足度向上に努めます。

委員会の名称はNihonmatsu Bottom Upに部活動をかけたものです。

これまでオプション健診導入、ボランティア清掃、病院Webサイト改修など実施してきました。

さらに活動の場を広げる予定ですので、N・BU活に乞うご期待ください！

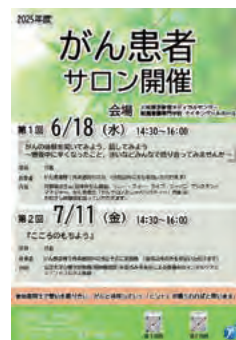
東京新宿メディカルセンター

地域が創る病院

病院が創る地域

広報企画委員会
総務企画課

山田 有希子



〈イベントスケジュール〉

4月3日(木)	2025年度第1回認知症サポーター養成講座 (スタッフ向け)	新人100名参加
5月28日(水)	市民講座「がんの体験を聞いてみよう」	30名参加 お葉書でお礼状も届きました
6月18日(水)	がん患者サロン「がんの体験を聞いてみよう、話してみよう」	がん患者さんと外科通院中の方 (当院以外も可)
7月11日(金)	がん患者サロン「こころのもちよう」	がん患者さんと外科通院中の方 (当院以外も可) とそのご家族
7月23日(水)	大山 弘翔バイオリンコンサート開催 SMC子ども夏祭り	ボランティアコンサート 子ども医療体験
7月24日(木)	2025年度第1回健康教室「足」	講師 整形外科 張成虎
7月25日(金)	神楽坂阿波踊り祭り	当院スタッフ90名参加
9月30日(水)	2025年度第2回健康教室「ACP」	講師 看護部
10月末予定	2025年度第2回認知症サポーター養成講座	どなたでも参加できます
11月14日(金)	2025年度第3回「お口のフレイル」	講師 歯科 中根綾子

毎月第2水曜日は筆筒町総合相談センターによる相談会を当院外来にて実施中

東京新宿メディカルセンターでは、「地域が創る病院、病院が創る地域」を目指し、地域とのつながりを大切にしながら、病院のファンを増やすとともに、職員のエンゲージメント向上にもつながるようなさまざまな活動に取り組んでおります。2025年度も「神楽坂あわおどり」「がんサロン」「ボランティアコンサート」「認知症サポーター養成講座」「健康講座」など、多彩なイベントを企画しております。受診時だけでなく、こうした機会にもぜひお気軽にお立ち寄りください。



かえるチャレンジ2025

今年も“かえる”チャンス到来！

JCHOでは、職場チームによる業務改善の取り組みに係る表彰制度を設けており、より多くの職員が気兼ねなく参加をしてほしいと考え、昨年度から「JCHO・かえるチャレンジ！」に名称を改めたところです。

今年度も、上位5組に選ばれたチームは「JCHO地域医療総合医学会」にてプレゼンテーションを行っていただきます。

第10回JCHO学会に参加される皆さまにおかれましては、是非会場にお越しください。

【掲載のご案内】

昨年度ご参加いただいた各チームの取り組みをポータルサイトに掲載しております。ご参考いただくとともに、各施設にてご活用ください。

＜昨年度の取り組み例＞

- ・地域が求める診療体制の確保
- ・多職種協働の取り組み
- ・患者向けQ&Aの作成
- ・節電による経費削減 など

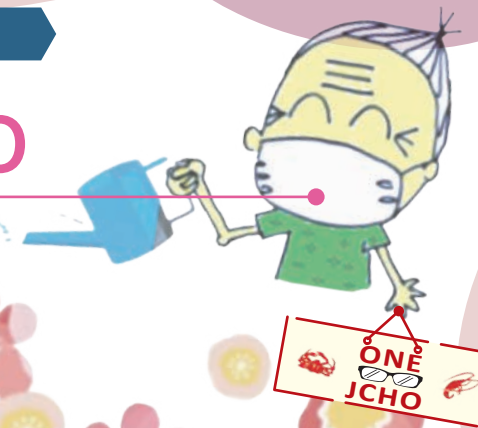


2024年度 参加病院一覧

- ・仙台病院 ・さいたま北部医療センター ・湯河原病院 ・三島総合病院 ・中京病院
- ・滋賀病院 ・京都鞍馬口医療センター ・大阪病院 ・神戸中央病院 ・大和郡山病院
- ・玉造病院 ・下関医療センター ・九州病院 ・久留米総合病院 ・松浦中央病院
- ・熊本総合病院 ・人吉医療センター ・宮崎江南病院 (全18病院、30チーム)

ONE JCHO

地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く



宇和島病院



宮崎江南病院



四日市羽津医療センター



中京病院



玉造病院



松浦中央病院

JCHO認定キャリアアドバイザー(JCA)制度

私たちは、看護サービスの量と質の側面から看護力拡充策を推進し、法人全体の経営向上につなげるように「JCHOナース1.3万人総活躍プラン」に取り組んでいます。

1.3万人総活躍プランの中のJCA制度は、JCHOに勤務する看護職員が「JCHOナース」として成長しながらいきいき働き続けられるよう、専門職としての能力向上・能力開発・職業継続に関する相談に応じ支援することで、多様な看護人材の確保・活躍を図るために創設されました。同時にキャリア支援・開発に関する課題に対して管理者とともに検討し組織の発展に寄与することを目的とします。



研修の様子



JCHO認定「キャリアアドバイザー」によるキャリア形成・支援

- ・タスク・シフト/シェアの推進
- ・看護補助者・介護福祉士との協働
- ・看護職の副院長への登用
- ・看護DXの推進



看護師の実践・
管理能力の向上

- ・職位別研修の実施 ・地域連携力の強化
- ・認定看護管理者教育課程の実施
- ・キャリアラダー、マネジメントラダーの活用
- ・東京医療保健大学との連携
- ・研究・研修受講の支援
- ・JCHO認定「キャリアアドバイザー」によるキャリア形成・支援
- ・看護系大学との連携
- ・実践配置を見据えた特定行為研修の計画的受講の促進
- ・JCHO看護師キャリアパスの作成・活用促進
- ・PFMの要としての能力強化

生き生きと活躍できる
環境づくり

JCHOナース
1.3万人
総活躍プラン

～地域住民の幸福な生活を
支えるための看護力拡充～

- ・介護職との連携によるケアの充実
- ・特定行為研修修了者の活動の促進
- ・夜勤負担の軽減

JCHOナースとは…
JCHO看護理念に基づき、地域医療・地域包括
ケアの要として多職種・多機関と連携する能力
をもつ看護師である。

きめ細やかな人材確保
JCHOナース育成

- ・採用活動支援
- ・JCHO病院間の看護師派遣、研修出向
- ・教育機関、行政との人事交流
- ・看護学生の修学支援
- ・JCHOマインドをもった看護師養成
- ・採用内定者の辞退防止策
- ・経験者の積極的採用と
「キャリアアドバイザー」によるサポート
- ・看護系大学等との連携、卒前看護教育

病院機能評価

～ワーキンググループの取り組み～

東京新宿メディカルセンター 病院長 関根 信夫
(病院機能評価受審促進ワーキンググループ 座長)

当WGは「JCHO病院の機能評価受審支援」「JCHOサーベイヤーの育成」を目的に昨年度より活動を始めています。今年度は29病院が受審しますが、WG所属のサーベイヤー(診療・看護)が各病院からの要請に応え、実際に訪問して、本番さながらの「リアル」なサーベイを披露(?)、助言を行い、各病院が自信を持って受審されるよう支援しています。昨年度、東京新宿MCでは、新たに2名の看護サーベイヤー！を輩出、今後の活躍に乞うご期待！



JCHO薬剤師確保大作戦

～ポリバレントファーマシスト育成が始まりました～

東京新宿メディカルセンター 薬剤部長 片山 歳也
(本部医療課 薬事専門職)

JCHO病院薬剤師が不足している現状をうけて、その打開策として、教育の充実と処遇改善に取り組みました。JCHO薬剤師レジデント育成プロジェクトとして、JCHO薬剤師教育研修実行委員会において、「JCHOポリバレントファーマシスト育成プログラム」を策定しました。このプログラムに基づき、急性期から慢性期における効果的な薬物療法支援やチーム医療を推進し、地域医療に貢献できる薬剤師の育成を目指しています。





JCHO本部理事
と病院長

東京都保健医療局長

医心伝心

2025年度JCHO NEWSの特集として、各病院・施設の紹介シリーズを連載します。

様々な医療・施設の紹介、イベント、地域との交流、地域貢献、マーケティング・PR関連の取り組み等、多くの情報を共有していくことを目的としております。

表紙デザインも一新、JCHOで活躍するみなさんの活躍中の一コマを展開します。初回はメディカルスタッフ、以降は、JCHOナース、ドクター、事務職員などを予定しております。

みなさまからの情報・写真・資料の提供をお待ちしております。今後共、JCHO NEWSをよろしくお願い致します。

2025年3月に東京高輪病院、東京新宿メディカルセンター・東京山手メディカルセンター・東京城東病院及び東京蒲田医療センターの5病院の病院長と本部の衣笠理事が、(独)国立病院機構・(独)労働者健康安全機構とともに、東京都の雲田保健医療局長と面会し、要望書を手交しました。

当日は各病院から、日頃の取り組み及び東京都の支援への感謝を伝えるとともに、厳しい財政状況を説明し、今後、JCHOについても他の民間病院と同様に東京都の財政支援の対象としていただくよう、要望を行いました。

都の医療行政のトップと公的医療機関の経営層とが一堂に会して意見交換を行う、非常に充実した時間となりました。



独立行政法人
地域医療機能推進機構

JCHO Japan Community Healthcare Organization



本 部

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220

<https://www.jcho.go.jp>



JCHOは、これからも地域と共に、皆さまと一緒に歩み続けます！



CONTENTS

03 人命救助に貢献：相模野病院 看護師

04 ONE JCHO（理事長訪問）

05 役員メッセージ

06 **特集** 病院・施設紹介

病院 取り組み：南海医療センター

施設 取り組み：相模野病院 健康管理センター

地域貢献 セミナー：湯河原病院

地域交流 フォーラム：九州病院

施設 取り組み：大阪病院附属看護専門学校

地域交流イベント：群馬中央病院

PR・キャラクター活用：星ヶ丘医療センター

研修終了後の自主的取り組み

14 女性医師キャリア紹介

JCHO PHARMACIST（薬剤師）

15 防災研修実施

JCHOで育成する総合診療医



清水さくら病院 株式会社清水銀行
 病院長：森典子 頭取：岩山靖宏

清水さくら病院、清水銀行との 「遺贈に関する協定」を締結

この協定は、地域住民の方々が清水さくら病院へ財産を寄贈（遺贈）する際に、清水銀行が専門的な相談や手続きをサポートする仕組みです。遺贈に関する不安や手続きの負担を軽減し、地域の医療・福祉環境の整備や質の向上に役立てます。

人命救助

相模野病院



表彰された、相模野病院 看護部

看護師 渡貫 かな さん

2025年5月、相模野病院に勤務している渡貫看護師がJR橋本駅構内において、意識不明の女性に対して、AEDによる除細動及び胸骨圧迫による救命措置を実施し、人命救助に貢献したとして、2025年7月に相模原市消防局 北消防署において表彰を受けました。

普段は急性期病棟に勤務している渡貫看護師は、今回の救護活動を経験して、救急隊が到着するまでの救命措置が非常に重要であることが改めて実感でき、今後も万一、同様のことがあれば迅速に救命措置を行いたいということでした。

また、今回救護対象となった方がお礼に訪れてくれた際の「後遺症もなく元気になりました」という声を聴けたことがとても嬉しかったと述べています。



S O S



ONE JCHO

地域に「良質な医療」という種をまき
教育という水をやると
信頼という芽がでて
「JCHO」という花が咲く



天草中央総合病院



大和郡山病院



徳山中央病院



三島総合病院



天草市病院事業管理者 竹中 氏 (左より)
JCHO 山本理事長
天草市 馬場 市長
天草中央総合病院 芳賀 病院長

天草市役所に表敬訪問

天草市における地域医療の連携を深めました。

役員メッセージ

管理担当理事

衣笠 秀一



「やってみる」ということ

各病院・施設の皆様には、人手不足や物価上昇など、これまでにない厳しい環境の中で、医療・介護サービスの提供に尽力いただいていることに、心より敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

こうした厳しい状況の下では、これまでどおりのやり方を続けるだけでは、事業の継続さえ危ぶまれる可能性があります。そのため、新しいことに挑戦してみる、といった「やってみる」という姿勢がますます大事になってくると思います。

「見る前に跳べ」という言葉があります。英国出身の詩人の詩に由来するもので、考えすぎて立ち止まってしまうよりも、まず一歩踏み出す、行動することの大切さを教えてくれる言葉です（もちろん、無計画に動くことを勧めているわけではありません）。私自身、この言葉に背中を押されてきました。

本部でもそうした思いを大切にしながら、様々な取組を進めています。是非、各病院・施設の現場でも、変化していくこと、新しいことに前向きに取り組んでいただければと思います。JCHO全体として、皆さんとともに「見てから、そして跳べるように」努力を続けてまいります。引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



南海医療センター

地域医療・地域包括ケアの要となる薬剤師育成

薬剤部長 葉田 昌生



さいきっちNEWS 2024年10月31日放送分

南海医療センター薬剤部では地域の人材育成の一環として、佐伯市薬剤師会より日本医療薬学会 地域薬学ケア専門薬剤師研修薬剤師、日本臨床腫瘍薬学会 がん診療病院連携研修薬剤師、各1名の研修を受け入れました。特に後者研修期間中の症例報告は九州山口薬学大会の大会賞を受け、当院への表敬報告の様子は地域の放送局（CTS）よりテレビ報道されました。

研修修了後、研修者は無事学会の専門薬剤師認定試験に合格し、所属する薬局は大分県で2番目の専門医療機関連携薬局の指定を受けることができ地域医療の推進に貢献することができました。



相模野病院 健康管理センター

日本人間ドック・予防医療学会「受けてよかった機能評価」
「努力賞」を受賞しました！

健康管理センター 看護師長 井上 光子



京都で開催された日本人間ドック・予防医療学会「受けてよかった機能評価」において、集団指導から個別保健指導へ切り替えた取り組みに関して「努力賞」を頂きました。

保健指導ができる人材確保のために医学的知識・運動・栄養のメカニズムと面接技法等を研鑽しました。また多職種との連携を深め、受診者の面談時間の調整やプライバシーの確保、指導内容の充実等に努めました。今後もチーム連携を強化し、保健指導の件数増加と質の向上を目指します。

地域貢献
セミナー

湯河原病院



地域交流
フォーラム

九州病院

健康セミナー開催！

「腰痛」編

リハビリテーション室 理学療法士 内田 陽成



湯河原病院リハビリテーション室では、「地域住民の方の健康増進」を目的に理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が中心となり健康セミナーを実施しております。

今回は「腰痛セミナー～良い姿勢とはどんな姿勢？～」をテーマに理学療法士が中心となり実施いたしました。セミナー後のアンケートでは「姿勢のポイントを知れて良かった。」との声をいただきました。

今後も地域住民の方の健康増進を目的に様々なテーマでセミナーを実施してまいります。

地域医療機関との連携強化への取り組み

医療支援部 看護師長 地域連携室長 中島 愛子



九州病院では、地域との連携強化を目的に「メディカルネットワークフォーラム」を開催しております。特に「顔の見える連携」を重視し、地域医療機関との信頼関係の構築に努めております。

コロナ禍で一時中断していたフォーラムは、ハイブリッド形式で再開、昨年度からは対面開催とし、地域の先生方からも好評を得ています。実際に顔を合わせた意見交換により、地域のニーズを伺うことができ、その重要性を改めて実感しています。

今後もこうした取り組みを継続し、地域と連携した医療を提供していきます。

大阪病院附属看護専門学校

学びの幅を広げ、看護の未来を創る
ダブルスクール制度の導入！！

大阪病院附属看護専門学校 教務主任 三浦 千里



👍 ダブルスクールをする学生のメリット

- 幅広い知識習得、質の高い看護師へ
- 20人以上の合同入学で放送大学の入学金が半額
- 60単位習得を上限として大学に認定、卒業までの負担軽減
- 約41万円ほどの費用で学費軽減、学士(教養)取得
- 必要な条件を満たせば「大学改革支援・学位授与機構」の審査で学士(看護学)学位取得
- 大学のスクーリング不要
- 他の学生と共同学習が可能で学習がしやすい
- 大学での既習得単位認定審査等手数料無料

2026年度よりダブルスクール制度を導入します。本校に在籍しながら放送大学にも入学し、同時に大学の科目を履修する制度で、時間や場所にとらわれずに学べる大学の特徴をいかし、本校での専門的な学びと組み合わせることで、より幅広い知識の習得が可能となります。放送大学を卒業する際には、学士（教養）を取得することができ、また必要な条件を満たせば学士（看護学）の学位を得ることも可能です。

この制度を活用することで、受験生への魅力ある学校となり、JCHO組織へ質の高い看護師を輩出することにつながると考えています。

群馬中央病院

2025年度 納涼会

総務企画課 総務係長 大塚 健

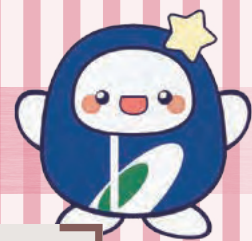


群馬中央病院では、8月23日（土）に納涼会が開催されました。天候に恵まれ、最高気温 38℃と大変暑い一日でしたが、山本理事長をはじめ、前橋市長も来場され、2,000 人近い方に参加いただきました。職員による AED 講習会や健康相談等が行われ、来場者に当院の魅力をアピールしました。

また、キッチンカーの出店やステージイベントも行われました。納涼会を通じて、地域の皆様により当院を知っていただくことができたと思います。

PR
キャラクター

星ヶ丘医療センター



公式マスコットキャラクター

それゆけ！「そらちゃん」の活躍！

総務企画課長補佐 福永 幸子



星ヶ丘医療センターでは、新たに公式マスコットキャラクター「そらちゃん」が誕生しました。

「そらちゃん」のお仕事は広報活動であるため、採用活動や渉外活動に役立つよう「そらちゃん」のイラストが入ったグッズを作成しました。また、職員が手作りしたぬいぐるみの「そらちゃん」は就職説明会の場にも出かけ、星ヶ丘医療センターを覚えてもらう一助にもなっています。

就職説明会后、インターンシップに参加いただいた学生さんからは「説明会にもいた、そらちゃんですね！可愛い！」とコメントいただけ、印象付けられていることがうかがえます。

これからも愛され親しまれる「そらちゃん」と共に広報活動を行っていきます。

研修終了後の
取り組み

「学びの場（Bar）」

自主的な学びの継続

「学びの場（Bar）」

埼玉メディカルセンター

リハビリテーション科 言語聴覚士長

朝倉 悦子
(幹事)



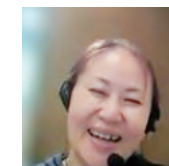
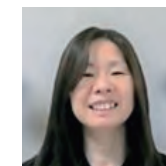
基礎の基礎から学ぶ
学びの場(Bar)



北海道病院
埼玉メディカルセンター
東京山手メディカルセンター
大和郡山病院
大和郡山病院
玉造病院
久留米総合病院
湯布院病院

副言語聴覚士長 城宝 深雪
言語聴覚士長 朝倉 悦子
副臨床工学士長 渡邊 研人
診療放射線技師長 中尾 哲
主任診療放射線技師 寺田 卓三
副作業療法士長 山崎 敦広
副診療放射線技師長 坂田 朋
副栄養管理室長 小田真理子

回数	開催日	内容	担当
1回	1/15	ファシリテーション	朝倉
2回	1/23	「大人の学び」を考える	中尾
3回	2/10	組織と群れ	山崎
4回	2/25	コーチングタイプ分け分類	寺田
5回	3/11	クリティカルシンキング	城宝
6回	3/17	コッターの企業改革から考える 部署運営と現状の悩み	小田
7回	4/16	働きがい	坂田
8回	4/30	データと友達になろう	渡邊
9回	5/21	ケースメソッドで学ぶ実践力	朝倉
10回	6/16	部門における経営資源を考えてみる	中尾
11回	6/24	教えてください！！副職長さん	山崎
12回	7/10	医療系管理職のための ダイバーシティ&インクルージョン	寺田
13回	7/29	なぜそれを選ぶ？心理バイアス	城宝
14回	8/13	職場改革の障害	小田
15回	8/26	哲の8段階プロセス	坂田



私たちは2023年度の経営パワートレーニング研修で出会った仲間を中心に、コメディカル8名で「学びの場（Bar）」という勉強会を開いています。

研修で得た経営の視点を日常業務に活かしつつ、学びを終わらせないという共通の思いのもと、担当者がテーマを決めて自由に意見を交わしています。堅苦しくなく、それでいて刺激や気づきがあるこの場で互いに学び合い、「組織の成長に貢献できるリーダー」を目指して取り組んでいます。

院長の仕事～想像を絶した！

女性医師キャリア紹介

清水さくら病院
病院長

森 典子

諸先輩方の口車に乗って2022年に院長になりました。が、数字の列や各種規約、通知や伝票、契約書などを見ても、目が「滑っていく」だけで、理解できず、さらに建築の専門用語が飛び交う新病院建設定例会議は完全に落ちこぼれていました。それでも何とか新病院を建設・移転できました。何とかなるものです。

建設後の膨大な借金と利子を背負った今、私ができることは職員の賞与を確保するための目標設置、そのための策を練ること、病院の質を上げること、地域内での存在感を確保することくらいです。

女性に「院長職」が向いているかどうかというよりは性別は関係ないと日頃から思っています。心ある有志よ、Let's Challenge！



質の高い薬剤師育成・確保を目指して ～日本病院薬剤師会への訪問～

JCHO PHARMACIST

東京新宿メディカルセンター
薬剤部長（本部医療課薬事専門職）

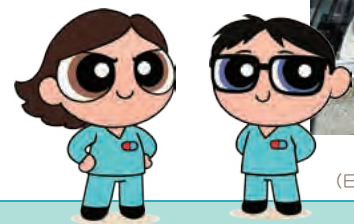
片山 歳也

JCHO薬剤師教育研修実行委員会では薬剤師のキャリアプランの検討を進めております。

施設間連携等の課題解決に向けて、8月1日 山本(主)理事、伊藤(典)理事、森医療部長、本多係長と共に日本病院薬剤師会(武田会長)を訪問し、情報交換を行い、訪問後に薬剤師臨床研修推進ワーキンググループ※へJCHOが参画することになりました。質の高い薬剤師の育成に繋げ、次世代にも伝えていきたいと思ひます。



※「薬剤師臨床研修の効果的な進め方に関する調査検討事業」の一環
薬剤師臨床研修を全国の施設で実施可能とする体制構築を目指し、研修施設の募集・公表や連携研修モデル、中小病院が参画しやすいカリキュラム改訂を検討する事業。



日本病院薬剤師会
(日本薬学会永井記念館8F@渋谷)

防災研修を実施しました！

防災研修



JCHO本部 医療部医療課
医療推進係長

金子 亮広

2025年7月17・18日にかけてJCHO病院防災研修を実施しました。今年度はより多くの方々に防災への関心を深めていただくため、対象者を拡大して実施しました。研修ではDMAT事務局による専門的な講義に加え、病院からの事例発表やグループワークも行い、参加者の理解を深める貴重な機会となりました。

当日の動画や資料は、職員専用ポータルサイトに公開していますので、興味のある職員の方はぜひご確認ください。今後も防災に関する情報発信を続けていきます。



JCHOで
育成する
総合診療医

「みーとみーと」で病院と地域をつなぐ

横浜保土ヶ谷中央病院
総合診療科 医長

八百 壮大

高齢化に次ぐ「縮充」のフェーズに入った当地。近隣住民や横浜国立大学卒業生らが中心となり、空き家(旧精肉店)を活用した世代間交流・学習のシェアスペース **みーとみーと (meat & meet)** の運営をはじめました。総合診療科はヘルスケア面を支援し、健康をテーマにしたカフェを定期開催しています。

こどもから高齢者まで、地域の方の声からの学びは大きいです。在宅医療もしかり、病院から地域へ出る総合診療医の取り組みです！



JCHO の取組：障害者雇用の促進について

JCHO本部 総務部 人事課長 関 和彦

JCHOでは、医療事業を行う法人として、障害者雇用・共働を積極的に推進しており、障害のある職員と共働していくため、組織としてより良い環境を整えるように対応しているところです。

そうした活動の一環として、外部講師を招き研修を開催し、職員が障害者雇用について理解を深める機会を設け、院内周知用のポスターを掲示し、障害者の方が働きやすい環境づくりに努めています。

職員の皆様におかれましては引き続き、障害者雇用・共働について一層のご協力をお願いいたします。



JCHOでは

障害のある方の雇用を積極的に行っています

JCHOでは多様な方々が安心して働ける職場づくりに取り組んでおり、障害のあるスタッフも積極的に雇用しています。

一部のご案内やご対応にお時間をいただくことがあるかもしれませんが、皆さまのご理解とあたたかいご配慮をお願い申し上げます。

スタッフも随時募集しております

身近に就労場をお探しの障害のある方がいらっしゃいましたら、ぜひ当院をご紹介ください。

(ポスター例)



(研修風景)



独立行政法人
地域医療機能推進機構
Japan Community Healthcare Organization



本 部

〒108-8583 東京都港区高輪3-22-12 ☎ 03-5791-8220
<https://www.jcho.go.jp>



JCHOは、これからも地域と共に、皆さまと一緒に歩み続けます！